慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	序(和田木松太郎教授追悼号)
Sub Title	
Author	田村, 茂
Publisher	
Publication year	1987
Jtitle	三田商学研究 (Mita business review). Vol.30, No.5 (1987. 12) ,p.i-
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234698-19871225-04054254

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

序

昭和26年から55年まで30年に亘って本塾大学で簿記，会計学，財務管理論等の講義を担当されるとともに，ゼミナールにおいて幾多の俊秀を育ててこられた松阪大学教授和田木松太郎先生が，松阪市民病院で急逝されたのは，２年前の昭和60年９月６日のことであった。慶應義塾をご退職になってからすでに数年の歳月が過ぎていたとはいえ，先生の学問と教育に対するあの真摯な態度と温厚篤実な人柄は，われわれ商学部専任スタッフの心に強く焼きついており，けっして薄れることはない。それだけに，先生がまだ十分活躍の望める66歳という年令で逝かれたことは，返えすがえすも残念でならない。

先生は昭和16年に本塾大学経済学部をご卒業とほぼ同時に兵役に就かれたが，戦後復員されるや直ちに同大学大学院（旧制）に入学，改めて経営学と会計学の研究に取り組まれ，昭和26年には本塾大学経済学部の非常勤講師として教壇に立たれるようになった。先生が研究と教育の道を歩もうと心を決められたのはこの時期であって，30年には同学部に専任講師として迎えられ，その後商学部助教授，教授へと昇格して，48年から50年まで商学部長・商学研究科委員長の要職にも就かれている。

その間，商学部教員として周到に準備された明快な講義と綿密で温い指導によって学生の教育に当られる一方，研究者として数々の優れた研究業績を発表され経営学会と会計学会で高い評価を得ておられたことは，いまさらここでいうまでもない。大学時代は会計学の権威三辺金蔵博士の薫陶を受け，その後は経営学の大家小高泰雄博士の指導を受けられたということの恩恵であろうか，和田木先生の学風には幅の広さといったものが感じられるが，それだけではなく，先生の学風には論理整合性とともに現実妥当性をも大切にするという特徴が窺える。想うに，この特徴は先生が慶應義塾で教職に就かれる以前の一時期恩師三辺博士が開設された「三辺会計事務所」で働かれたり，「経営研究所」に関与されたりして，現実に密着した仕事をされた過程で培われた先生の学問に対する哲学の現われといえるのではあるまいか。いずれにせよ，先生にとって学問研究は現実問題に対する理論的アプローチであったように思われる。このことは，先生がビジネス・ケースに強い関心を示され，自ら，わが国におけるケース作成の草分け的仕事をされたことからも推察できる。

慶應義塾大学商学会ではこうした先生の学風に改めて思いを致し，併せて先生の研究，教育における輝しい足跡を偲ぶために，その機関誌『三田商学研究』の一つの号を充てて先生の追悼号にしたいと，かねてから企画してきていた。ただ諸般の事情からその実現が大幅に遅れていたが，漸くここにその発行を見ることになった。謹んで本号を先生のご霊前に捧げ，ご冥福をお祈りする次第である。

昭和62年10月

商学部長

田村　茂